

2026 年度東京海洋大学 海洋生命科学部 食品生産科学科

総合型選抜 小論文 【解答例・出題の意図】

問題 1

問 1. 次の (1) ～ (5) について、本文の内容に即して日本語で答えなさい。

- (1) 2004 年のノルウェーの研究によると、1990 年代以降平均的な IQ スコアはどうなっていますか。
(10 点)

(解答例) 着実に下がっている。

- (2) 1980 年代に、アメリカの研究者であるジェームズ・フリンは、どのくらいの数の IQ テストの結果を
分析しましたか。(10 点)

(解答例) 何百万

- (3) 「フリン効果」と呼ばれる現象はどのような現象ですか。(15 点)

(解答例) IQ テストの平均点が 10 年ごとに 4 ポイントずつ上がる現象

- (4) 1970 年代以来、300 倍に増えたと推定されているものは何ですか。(10 点)

(解答例) 我々の身のまわりにある化学汚染物質の量

- (5) デジタル機器からの情報に常にさらされると、どうなると著者は言っていますか。(15 点)

(解答例) ますます気が散りやすくなり、集中力が持続する時間が短くなる。

問 2. 本文は、近年の IQ テストのスコアの変化について論じています。あなたは、本文に書かれているような IQ スコアをめぐる状況について、どのように考えますか。本文の内容を踏まえたうえで、あなたの意見を 260 字から 300 字の日本語で書きなさい。(40 点)

参考：「問 2.」採点のポイント。以下の 5 点を採点上の主なポイントとする。

- 1) 本文の内容を踏まえているか。
- 2) 主題・論旨をはっきり示しているか。
- 3) 論理的な発展をしている文章か。
- 4) 具体性に欠けていないか。
- 5) 結論を出しているか。

【出題の意図】

問 1 では、英文の内容についての質問に答えられるかによって、英語の読解力を評価する。問 2 では、英文の内容を踏まえたうえで書いているかによって、英語の理解力を問うとともに、論理的でかつ説得力のある日本語の文章を書くことができるか、自分独自のものの見方を持っているかなどについても評価する。

総合型選抜 小論文 【解答例・出題の意図】

問題2

解答例

問 1

暖色系の壁紙が貼られた部屋に入ると、壁紙の存在は室温に影響しないが、温かさを感じることが該当する。視覚情報（暖色系の壁紙）が温度感に影響を与えているため、クロスモーダル知覚と言える。

(91 字)

その他の例)

- ・風鈴の音を聞くと涼しく感じる。
- ・寒色系の壁紙が貼られた部屋に入ると寒さを感じる。
- ・炭酸飲料を開封した時の音を聞くと、冷たさや爽快感を感じる。

※上記以外であっても、該当すると判断される身近な具体例をあげてあれば、得点を与える。

問 2

味覚は化学物質と受容器との反応を通じて得られるものであり、再現良く提示するのは簡単ではないのに対し、視覚はより尤度が高く提示方法が確立していると、両者の違いを述べている。

(85 字)

※同様の主旨がかかれていれば、得点を与える。

問 3

クロスモーダル知覚を食品に利用することで、味覚成分の量や種類を変えることなく、その他の感覚に基づく情報を用いて、味覚を変えることが可能となる。これは、例えば、甘味や塩味を強く感じさせることで、実際の砂糖や塩の摂取量を減らすことが可能となり、これらの過剰摂取が問題となる病気の予防が期待できるといった利点がある。一方で、意図的に味覚を操作することになるため、低品質の食品を高品質であると消費者に誤解させるような欺瞞行為が横行することが懸念される。クロスモーダル知覚の利用にあたっては、このような悪用がおこらないよう倫理的な配慮が求められると共に、消費者の理解と信頼を得ることが必要であると考え。

(298 字)

※上記以外であっても、適切な内容であると判断される場合は得点を与える。

総合型選抜 小論文 【解答例・出題の意図】

出題意図

問 1

提示された文章ならびに問いを正しく理解し、適切な解答を作成できるかを問うことで、読解力、思考力および表現力を評価する。

問 2

提示された文章の内容を正しく読み取とり、要約ができるかを問うことで、読解力と表現力を評価する。

問 3

提示された文章をもとに、自分の考えを論理的に記述できるかを問うことで、読解力、思考力、表現力を評価する。